

地域性苗木 採種・生産記録の取り方(案) (参考にして下さい。)

(社)日本植木協会
地域性植物適用委員会
地域性苗木生産研究会
平成20年10月作成

目次

- はじめに
- 採種にあたっての留意事項
- 採種記録の取り方
- 播種記録の取り方
- 生産圃場での記録の取り方
- 管理記録の整理の仕方
- おわりに
 - 追加資料「地域性苗木の生産品質と規格(案)について」(平成19年5月9日地域性苗木生産研究会勉強会資料)

• はじめに

地域性苗木の生産記録に関する皆様の参考になればと思い この資料を作成しました。
今後、皆さんと共に勉強・研究しながら より良いものを作って 当会の記録の取り方が 地域性苗木生産記録のスタンダードになっていくことを願っています。

• 採種にあたっての留意事項

- 1) 私達が目指す苗木は「系統的遺伝子資源の保全と多様性」に適應した母樹や母樹林から 採種していくのが基本です。
例) 植物自生地において 採種する場合、近くに交雑しそうな 近樹種が人為的に植栽されていない事などが重要です。
- 2) 多様性の見地から できるだけ1本の木からではなく 自生地の複数の木から採種して下さい。
- 3) 採種にあたって所有者または、地権者の採取・入山許可を得て下さい。
- 4) 追加資料「地域性苗木の生産品質と規格」をご一読ください。

採種記録の取り方

- 採種現場の写真
 - 写真が混乱しないように黒板付きで写真を撮ると分かりやすいです。
- 採種地の住所の管理記録
 - GPSや地図に 採種場所を記録。市町村レベルまで記録を 心がけて下さい。
 - 帳面やPC等で一元化した管理記録を残しましょう。
- 採種日の管理記録
 - 別途、帳面やPC等で一元化した管理記録を残しましょう。
 - 数日にわたって採種の場合もあるでしょう。



播種記録の取り方

- 播種・植付状況写真撮影
 - 樹種名・日付を黒板に書いて撮影しましょう。
- 播種日・植付日の管理記録
 - 別途、帳面やPC等で一元化した管理記録を残しましょう。



生産圃場での記録の取り方

- 鉢替え状況写真撮影
 - 黒板に 樹種名・コンテナサイズ・日付を書いて撮影しましょう。
- 鉢替え日の記録

地域性苗木 生産履歴

| | | | | | | |
|----------|------------|------|-----|-----|----|----------|
| 植物名 | 和名: | 科名: | 学名: | | | |
| 採取地 | 所在地 | 都道府県 | | 市・郡 | 町 | |
| | GPS | 緯度 | 経度 | | 標高 | m |
| 採取年月日 | 西暦 | 年 | 月 | 日～ | 年 | 月 日(種・穂) |
| 播種年月日 | 西暦 | 年 | 月 | 日～ | 年 | 月 日 |
| 鉢上年月日 | 西暦 | 年 | 月 | 日～ | 年 | 月 日 |
| 生産本数 | | | | | | 本(P) |
| 生産者名(屋号) | (社)日本植木協会: | | | 住所: | | |
| 備考 | | | | | | |

(社)日本植木協会 地域性苗木生産研究会

管理記録の整理の仕方(参考)

- 今まで取った記録を 写真とともに一元管理して 在庫数も記録しておきましょう。
- 今後、いつでも 設計協力できるような生産管理資料を 各自持っておいた方が良いでしょう。

地域性苗木自己生産
管理記録(例)

| 管理番号 | 製品番号 | 和名 | 科名 | 学名 | 現状規格 | | 在庫数 | 採取地 | | 地図記録の有無 | GPS記録 | | 生産記録 | | | | | | 出荷者記録 | |
|------|------|----|----|----|------|----|-----|-----|-----|---------|-------|----|-------|------|-------|------|-------|------|-------|----|
| | | | | | 年生 | P径 | | 採取県 | 所在地 | | 緯度 | 経度 | 採取年月日 | 写真添付 | 播種年月日 | 写真添付 | 鉢上年月日 | 写真添付 | 生産者名 | 住所 |
| 001 | 001 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 002 | 001 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 002 | 002 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

最後に

以上の生産記録を取り管理することは、手間がかかり大変なことです。

採種・生産管理記録をしっかり記録し 信頼ある地域性苗木をもって 国の施策である「生物多様性国家戦略」に適合し 自然環境再生に貢献できる苗木生産について 勉強・研究していきましょう。

追加資料

地域性苗木の生産品質と規格 (案)について

平成19年5月9日
弘済会館

追加資料

- **品質について**
 - 系統的遺伝子資源の保全と多様性の為の品質
 - 植栽現場に適応する為の品質
- **規格について**

追加資料

品質について

- まず、地域性種苗を理解する為に、求められている「生物多様性」の理解が必要です。(系統的遺伝子資源の保全が、目的の苗を作る為に)
 - － 優良系統選抜(母樹主義)からの脱却
 - － 樹高による価格決定から 樹齢による価格決定へ
 - － 根系の発達する苗木育成への転換上記、三点に留意しながら説明させていただきます。

追加資料

系統的遺伝子資源の保全と多様性の為の品質

- 1. 今までの景観緑化樹のように1本の母樹(良形)から挿木したクローンでは、好ましくない。(天然自生林には、クローンは存在しないから。)
- 2. 樹種ごとに風媒花・虫媒花などの交配方法を理解しながら 近隣に交雑の可能性木がない自生植物群落から 採取(採種)された苗であること。

注意: 山から掘り出してきた木を 採種しやすいように圃場に植えたものは、他系統遺伝子との交雑の可能性と多様性の観点から 適切ではありません。

追加資料

- 3. 採取(採種)した群落や採取木の写真・採取日・播種日などの記録を管理しておくことが必要となります。
- 4. 圃場内での管理により 地域性苗木と通常生産品との混乱を起こさないよう配慮して下さい。

追加資料

植栽現場に適応する為の品質

(山間部や法面などの特定地域は、植物にとって過酷です。)

追加資料

- 今までの樹高中心の規格で行われると生産性を上げる為に 肥料と水と密植で高さを作ろうとします。これは、植栽現場において活着に障害が出る場合が考えられます。地域性苗木が利用される自然再生の植栽現場は、過酷なため気候区分に留意し TR比(植物上部重量 / 根茎重量)を小さくし、側枝が発達させた苗が現場では望まれています。(今後の研究課題)

追加資料

規格について

- 先の「植栽現場に適応する為の品質」でふれましたが、今までの高さによる規格では、求められている適切な地域性苗木生産は行なえないでしょう。その為に、地域性苗木の状況条件に適応した規格を研究し提唱していくべきでしょう。
- 全国的な環境の違い 生長も考慮し 次のように進めていきたいと思えます。

追加資料

- **規格：苗木年齢（苗齡）**
- **参考規格：**
樹高（上下5割の誤差許容）
コンテナ径（または、その他）

追加資料

- **品質規格についても、今後もっと皆さんと共に 技術の向上と 研究・検討しながら 会を進めていきたいと思ひます。**